

ICSW

ICSW グローバル・コーポレーション（国際社協ニュースレター）

2010 年 6 月

【2010 年合同会議特集号】

2010 年合同世界会議：開会式



国際ソーシャルワーク学校連盟（IASSW）、国際社会福祉協議会（ICSW）、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）は、今世紀初めて会議を合同で行なった。113 カ国から 2,500 人以上が集まったが、成功したのは人数ばかりではない。2010 年 6 月、ソーシャルワークおよび社会開発を代表する 3 つの組織が、社会開発および社会正義を促進するための世界アジェンダと行動プログラムを構築すべく共に働いた、という偉業は、今なお人々の記憶に残っている。



組織委員会
委員長
Christine Fang



国連経済社会局
国連事務次長
Mr. Sha zukang



プログラム委員会
委員長
Cecilia Lai-Wan Chan

開会式では、国連経済社会局 (DESA) の国連事務次長である沙祖康氏が、IASSW、ICSW および IFSW の共通アジェンダへ向けての合同公約に、好意的な支持を表明した。沙祖康氏は、国連および世界にとって会議の持つグローバルな重要性を強調した。

彼は、社会開発の分野で働く人々に対し、IFSW、IASSW および ICSW と国連の間にパートナーシップを育むための行動を呼びかけた。沙祖康氏は次のように述べた。

「海外で行われる市民社会の集まりに、私が国連事務次長として出席するのは、これが初めてのことです……しかしながら皆様は、ソーシャルワーカーおよび社会開発の専門家のグループとして、誠に特別な聴衆でいらっしゃるわけです。皆様は、貧しい人々、声なき人々、権利を剥奪された人々のために働いておられますが、まともに評価されないことのほうが多い。今、ここで、私は声を大にして言いたいと思います。ニューヨークの国連の会議室で打ち立てられた非常に高い開発目標を達成するため、毎日毎日、村から村へと行なわれている皆様の貢献を、国連は認めております。ありがとうございます。」

沙祖康氏は、3つの組織について以下のように述べた。

「国連経済社会理事会において国連協議資格を得た最初の NGO の中に入っております。半世紀以上にわたって、社会の進歩における国連の業績に対し、大きな貢献をしてもらいました。」

「皆様はソーシャルワークおよび社会開発の分野における広範囲にわたる専門知識を代表しておられるわけです……この専門知識の幅と深さが、経済および社会問題を担当する国連の高官としての役割を持つ私自身も発奮させてくれます。力を合わせることで、現存する貧困の驚くべきレベルを下げ、社会正義や排除を解決できるという希望を私に与えてくれます。」

沙祖康氏は、会議および IASSW、ICSW、AFSW における課題を多く挙げ、ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成への我々の支援を求めた。彼は 3 者に対し、リオ+20 サミットへの支援を、また、コミュニケーションおよびプロモーションにおける国連への支援を求め、かつ『南』の国々との連絡における支援を求めた。沙祖康氏は次のように述べた。

「ですから、私はこの会議のメッセージである『共にアジェンダを創り上げよう、共に課題に立ち向かおう、共に成功しよう』を心から賞賛するものであります。」

アジェンダの構築



IFSW 会長の David N. Jones、ICSW 会長の Christian Rollet、そして IASSW 会長の Angelina Yuen-Tsang Woon Ki は、「アジェンダ」の調整プロセスをリードした。会議の計画段階において、我々はこの会議が知識交流の場であると同時に、社会政策アジェンダの構築をスタートさせるよい機会になると見ていた。会議前に政策ペーパーが準備され、各組織のウェブサイトを通じて流された。ICSW は社会保護、世界金融危機、および人身売買についてのペーパーを準備した。

会議を通して活躍したラポルトゥール（報告者）のチームは、主要テーマについての反応をまとめた。



ICSW

社会保護担当ラポルトゥール

Mabulara T'suene Tlali



ICSW

人身売買担当ラポルトゥール

Terry Hokenstad



ICSW

世界金融危機担当ラポルトゥール

Emmanuel Ted Nandolo



チーフ・ラポルトゥール

IASSW: Lena Dominelli

ICSW: Charles Abbey

IFSW: Garry Bailey

※ 座っているのは IFSW 会長
David Jones。

アジェンダの全容については、後ほどニュースレターで紹介する。ICSW は、主要アジェンダとして社会保護フロア・イニシアチブを推進した。

社会保護フロア・イニシアチブ (SPFI)

SPFIに関する会議前ワークショップは大成功であった。主だった政策立案者らは、社会保護の理念と実践の何たるかを知り、また会議中においても、国連の経済社会局（UN/DESA）、ユニセフおよびOECD POVNETがリードした社会保護に関する全体会議にてフォローアップが行なわれた。

2009年4月、国連の主要執行理事会（CEB）は、世界の危機に対応するための9つのイニシアチブのひとつとして、社会保護フロア（SPFI）を立ち上げた。ICSWは、SPFIを2010～2011年の主要な政策イニシアチブとして取り上げることとし、世界プログラムにも付け加えた。SPFIを取り入れるにあたり、ICSW総会では、9つの地域に対してSPFIを各々の社会政策アジェンダの主要部分とし、またSPFIのモデル、採択、遂行および維持を取り巻く事柄について、各国および地域の政府に働きかけるよう要請する決議が行なわれた。ICSWは、市民社会が合同SPFI作業部会のメンバーになるよう働きかける予定である。総会では、ICSWがSPFIについての世界的な議論に加わり、IASSW

およびIFSWに知識および機会を橋渡しするよう求めがあった。いずれICSWのホームページにSPFIとの特別リンクが張られる予定である。



【左から】

蔡海偉（香港社会服務協会）、デニス・コレル（ICSW）、Huck-ju Kwon 教授（韓国）、Timo Voipio（OECD POVNET、フィンランド外務相）、Vivienne Taylor 教授（南アフリカ）、Isabel Ortiz（ユニセフ）、Christian Jacquier（ILO）、Bob Huber（国連経済社会局）、Valérie Schmitt-Diabete（ILO）、Worawan Chandoevwit 博士（タイ）、Eduardo Klien（ヘルプ・エイジ・インターナショナル）

※ ICSW とともに本ワークショップのスポンサーを務めてくださった香港社会服務協会、香港特別区社会福祉局、国連経済社会局に深謝いたします。

● SPF-Iの根底にあるコンセプトは何か？

社会保護フロアとは、市民が享受してしかるべき一連の基本的な社会的権利、社会的サービス、社会的便宜などと軌を一にするものである。人権条約において具体的に言及されている、最低限の基本的なレベルの権利の実現を保証する中心的な義務と考えてよい。社会保護フロアは、こうした人権の実現を支援するための2つの主要な要素から成り立っている。

1. 水と衛生、食料と適切な栄養、保健、教育、住居、その他命や財産を守るための情報などの社会サービス、等々、**基本的なサービスへの入手可能性、持続性、地理的・金銭的アクセスを保証すること。**
2. 貧しい人々、弱い人々に、最低限の所得および生計の保安を提供するため、ま

た基本的なサービスへのアクセスを促進するために、現金給付なり現物支給なりの**重要な社会移転の基本的なセットを保証することによってアクセスを実現すること**。これには、子どもたち、所得が十分でない働き盛りの人々、および高齢者への社会移転（ばかりでなく、情報、資格付与、政策）も含まれる。

SPFIは、国の開発戦略の要となる要素としての国の社会保護制度の、包括的かつ首尾一貫したビジョンを推進する。その目的は、貧困削減および危険性の減少に関して、少ないリソースの効果を最大限にする首尾一貫した効率的な方法を通して、保護における落差を見極め、それを終わらせることにおいて、国を支えることであり、また、基本的なサービスおよび社会移転への「保証されたアクセス」を確保することである。

ICSW総会および評議会

合同会議に引き続き、総会が開かれた。



【正面左から】

ロズリン・ナキリヤ（プログラム・コーディネーター）、クリスチャン・ロレ（会長）、デニス・コレル（常務理事）、チャールズ・アビィ（副会長）、マリーケ・スティーンベルゲン（財務担当）

新しく選出された評議会が、会議後最初のミーティングを開いた。



【左から】

Rosely Nakirya (プログラム・コーディネーター)、Eva Holmberg Herrström (ヨーロッパ地域会長)、Braema Mathiakaranam (南東アジア・太平洋地域会長)、白秀雄 (北東アジア地域会長)、Driss Guerraoui (中東・北アフリカ地域会長)、クリスチャン・ロレ (会長)、Amacodou Diouf (中央・西アフリカ地域会長)、Taylor Nyanhete (東・南アフリカ地域会長)、A.S.Shenoy (南アジア地域会長)、Mirtha Crevoisier (ラテンアメリカ地域会長)、Paschaline Tar (中央・西アフリカ地域副会長)、チャールズ・アビィ (副会長)、デニス・コレル (常務理事)



【左から】

Judith Kaulem (東・南アフリカ地域会長、2006～2010)、Taylor Nyanhete (東・南アフリカ地域会長)、クリスチャン・ロレ (会長)、Lola Casal-Sanchez (ラテンアメリカ地域、ICSW ボランティア)、Emmanuel Ndlangamandla (スワジランド NGO 集会常務理事)

本ニュースレターの内容の引用・転載は、出展を明らかにする限り自由です。本ニュースレターに掲載された見解は、必ずしも ICSW の方針であるとは限りません。

編集：ICSW 常務理事 デニス・コレル

ICSW 連絡先

ICSW C/- MOVISIE PO Box 19129

3501 DC Utrecht

Netherlands

Email: icsw@icsw.org

Tel: +31 30 789 2226